

ベルリン国際映画祭の概要

ベルリン国際映画祭

1951年にドイツの映画史家アルフレッド・バウアーをディレクターに迎えて以来、毎年2月にドイツのベルリンで開かれている国際映画製作者連盟(FIAPF)公認の国際映画祭で、カンヌ国際映画祭、ヴェネツィア国際映画祭に並ぶ世界三大映画祭の一つ。ドイツの首都ベルリンでの開催ということで、世界中の映画関係者が参加し、併設見本市「ヨーロッパ・フィルム・マーケット(EFM)」はヨーロッパに向けた発信や広報活動の場となっている。ベルリン国際映画祭における最高賞である金熊賞をこれまで受賞した日本人監督作品は以下のとおり。

(参考)

- ・昭和38年(1963年) 今井正監督『武士道残酷物語』
- ・平成14年(2002年) 宮崎駿監督『千と千尋の神隠し』

第74回ベルリン国際映画祭

○会期: 令和6(2024)年2月15日(木)～2月25日(日)

○公式出品作品(日本映画):

【ベルリナーレ・スペシャル部門】

石井岳龍監督『箱男』／黒沢清監督『Chime』／工藤梨穂監督『オーガスト・マイ・ヘヴン』

【フォーラム部門】

三宅唱監督『夜明けのすべて』／想田和弘監督『五香宮の猫』

【フォーラム・スペシャル部門】

朴壽南監督・朴麻衣監督『よみがえる声』

【ベルリナーレ・ショート部門】

泉原昭人監督『カワウソ』

【ベルリナーレ・クラシック部門】

本多猪四郎監督『ゴジラ』